

平成29年度交通安全に関する啓発ポスター(※)
最優秀作品 古澤姫夏さん(横川西小学校)



子どもと高齢者の交通事故防止

▽子どもの交通事故防止
子どもは夢中になると周囲の状況が目に入らなくなり、車などへの注意がおろそかになってしまいます。保護者は、子どもから目を離さず、安全な歩き方や横断の仕方を教えるようにしましょう。地域でも、子どもたちを見掛けた際は明るく声を掛けて見守りましょう。

▽高齢ドライバーは身体機能の変化を確認
高齢者の交通事故は、加齢に伴う身体機能の変化により、視野が狭くなったり、判断や反応が遅れたりするなど、若い頃よりも機敏な行動をと

年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えましょう

12月11～31日に、年末の交通安全市民総ぐるみ運動を実施します。この機会に改めて交通安全の意識を高め、交通事故を未然に防ぎましょう。

本文中に記載がないものは、原則として、対象外となります。費用は無料、申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HPはホームページ、Eメールはアドレス、☒は地区市民センター、☒は出張所、☒は生涯学習センター、☒はつづのみや表参道スクエア、☒は地域コミュニティセンター、☒は市民活動センター



▲高齢運転者標識
▼高齢運転者標識を取り付けた自動車へ

れないことが事故原因の一つと考えられます。高齢ドライバーは、身体機能の変化を自覚し、日ごろから十分に安全確認を行うとともに、時間と心に余裕を持つて危険を回避しましょう。

交通事故発生時の被害防止・軽減

後部座席を含めた全ての

座席でシートベルト、またはチャイルドシートを着用しましょう。

また、6歳未満の幼児を自動車に乗せる場合は、必ずチャイルドシートを使用しましょう。

飲酒運転による悪質な交通事故をなくす

年末年始は、忘年会や新年会など飲酒の機会が増える時期です。飲酒運転による悪質な交通事故をなくすため、下の図のことを徹底しましょう。

ハイビームの上手な活用で夜間の事故防止

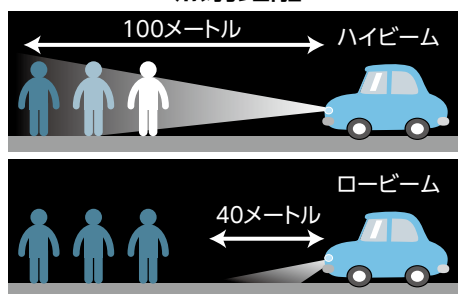
夕暮れ時の視認性低下による「見落とし」「発見の

12月11～31日は年末の交通安全市民総ぐるみ運動

■スローガン 子どもも高校生も高齢者もみんなで交通事故のない愉快なまちへ。

■重点
▽子供と高齢者の交通事故防止▽全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底▽飲酒運転の根絶▽「夜間走行中の原則ハイビーム」の徹底および「反射材の効果的な着用」の推進。

ハイビームとロービームの照射距離



遅れ」を防止するため、前照灯を早期に点灯するとともに、夜間は交通量の多い市街地などを除き、原則ハイビームで走行して、歩行者などを少しでも早く発見できるようにしましょう。

また、歩行者などが夕暮れから夜間に外出する際は、白や黄色など明るい色の服や、反射材が付いたタスキを着用するなど、自分の存在をドライバーに示しましょう。

みんなで守る 飲酒運転を絶対にしない、させない

- ▽お酒を飲んだら運転しない。
- ▽お酒を飲んだ人には車を運転させない。
- ▽車を運転する人にはお酒を勧めない。
- ▽飲酒運転をする恐れがある人には車を貸さない。

身に付けて飲酒運転撲滅 グリーンレッドリボン(GRリボン)運動

G(グリーン・緑)は交通安全のイメージカラー、R(レッド・赤)は飲酒運転禁止のイメージカラーで、「GRリボン」を服や持ち物、車の中などに付けることで、飲酒運転を「しない・させない」という決意を表します。リボンは、生活安心課(市役所2階)で配布しています。



▲GRリボン

※交通安全に関する啓発ポスター展示 ▽期間 12月18～22日▽会場 市役所1階市民ホール▽内容 市内小学4～6年生対象の「交通安全に関する啓発ポスターコンクール」入賞作品25点を展示。
◎この特集についての問い合わせは、生活安心課☎(632)2264へ。